

3年算数

「アイテム」を始めよう！

分野別となったこのテキストは、筑波大学附属小学校・算数研究部の先生が作成しました。

基礎・基本の問題をはじめ、手ごたえのある難しい問題までたくさんついています。「なるほど!」、「わかったぞ!」と思わせてくれる、「考える」ことが「楽しい!」と実感できるような問題にきっと出会うことができるでしょう。

さあ、「アイテム」の世界へ出発です!



イラスト・市村 淳一

Item のしくみ



「アイテム」算数 3年監修
大野 桂先生

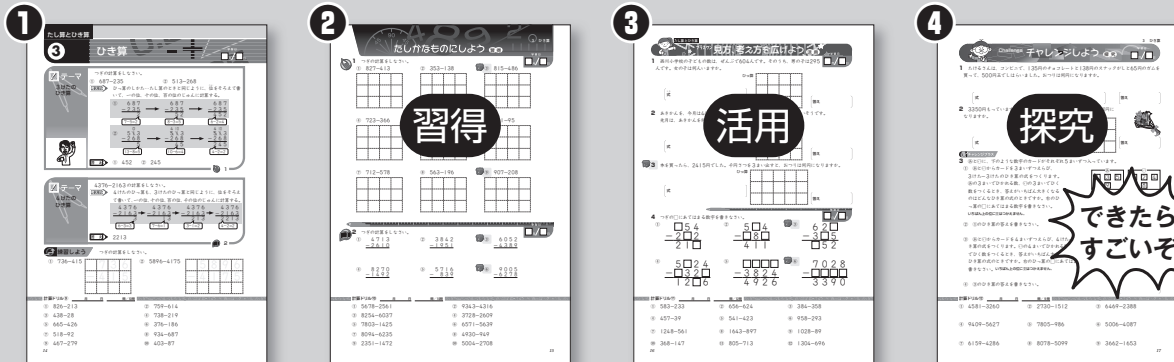
「アイテム」算数を活用される先生方へ

「アイテム」算数は、算数学習に必要な要素が盛り込まれています。学校での学習状況や、児童の習熟度合いによって活用のしかたを様々な工夫することで、児童の思考力向上が期待できます。①、②(あるいは③)は全児童の必修ページ、④(あるいは③も)はチャレンジ領域として、有効にご活用ください。

1単元、4ステップの構成です。ページが進むにつれ問題もステップアップしていきます。

各小単元

- ①「解説」(テーマ)+練習しよう…この単元で学習することの解説と、その基本問題がついています。
- ②「たしかなものにしよう」(習得)…練習しようの問題を少しふくらませた問題で構成しています。
- ③「見方、考え方を広げよう」(活用)…①、②で学習したことを活用して解いていく問題をのせています。
- ④「チャレンジしよう」(探究)…応用力を身につけるようになっています。③までできたら挑戦しよう!



1. 「計算ドリル」…各小単元では、ページの下に計算練習ができるコーナーを設けています。うしろには成績シートがついています。
2. 「ホームワーク(宿題)マーク」…宿題をマーク(📖)で示してあります。学校の進め方によっては、授業などでおこなうこともあります。
3. 関連記号…小単元によっては、「解説」を2つにわけています。2つの解説と「たしかなものにしよう」のページの問題とのつながりがわかりやすいように、ペン(🖋️)とノート(📓)をそれぞれ置いています。

トピックス

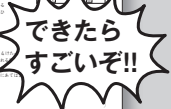
と 解き方をくふうしたり、それをいろいろな方法で表現していきます。

- 「授業でわかる!」…実際の授業をもとにしたコーナーです。
- 「スペシャルアイテム」…ちょっぴり遊びの感覚で算数に挑戦するコーナーです。

テスト

「アイテム」には、3つのテストがあります。

- 「チェックしよう」…小単元の基本問題中心の確認テストです。
- 「3年のまとめ」…総合問題です。2pで100点満点のテストです。
- 「活用問題」…学習したことを活用して解く問題です。



Item のもくじ



各単元には、基本的に4つのステップがあります。最初の2つのステップが終わってから、次の2つのステップにチャレンジしてみよう！

*学習日は、各ページでも記入できるようになっています。ここでは学習予定日として使うこともできます。

A数と計算

かけ算

① かけ算 P.6~9

学習日
月 日

たし算とひき算

② たし算 P.10~13
③ ひき算 P.14~17

学習日
月 日
月 日

授業でわかる! ①

たし算とひき算のふしぎ

P.18~19 学習日 月 日



わり算

④ わり算(1) P.20~25
⑤ わり算(2) P.26~29

学習日
月 日
月 日

授業でわかる! ②

あまりのあるわり算

P.30~31 学習日 月 日



大きな数

⑥ 大きな数 P.32~35

学習日
月 日

スペシャルアイテム①

田中英海

みんななかよしかけ算

P.50~51 学習日 月 日

かけ算のひっ算

⑦ かけ算(1) P.36~41
⑧ かけ算(2) P.42~47
⑨ 3けたのかけ算 P.48~49

学習日
月 日
月 日
月 日

授業でわかる! ③

かけ算の答えのかわり方

P.52~53 学習日 月 日



小数

⑩ 小数 P.54~57
⑪ 小数のたし算とひき算 P.58~61

学習日
月 日
月 日

分数

⑫ 分数 P.62~65
⑬ 分数のたし算とひき算 P.66~69

学習日
月 日
月 日

チェックしよう (A数と計算編)

- ① 《単元1~3》 P.74 学習日 月 日
- ② 《単元4~6》 P.75 学習日 月 日
- ③ 《単元7~9》 P.76 学習日 月 日
- ④ 《単元10~14》 P.77 学習日 月 日

□をつかった式

⑭ □をつかった式 P.70~73

学習日
月 日

授業でわかる! ④

カレンダーのひみつ

P.78~79 学習日 月 日



B 図形

円と球 学習日 月 日

⑮ 円と球 P.80~83

スペシャルアイテム② なつみかきとし 夏坂哲志


何がでてくるかな? P.84~85 学習日 月 日

三角形 学習日 月 日

⑯ 三角形 P.86~91

授業でわかる! ⑤

円の中心はどこ? P.92~93 学習日 月 日



なつみかきとし 夏坂哲志

チェックしよう (B図形編)

① 《単元15》 P.94 学習日 月 日

② 《単元16》 P.95 学習日 月 日

スペシャルアイテム③ もりもとたかし 森本隆史

正方形と直角三角形をみつけよう P.96~97 学習日 月 日

C 測定

長さとうかさ 学習日 月 日

⑰ 長さ P.98~101

⑱ 重さ P.102~105



時こくと時間 学習日 月 日

⑲ 時こくと時間 P.106~109

チェックしよう (C測定編)

① 《単元17~18》 P.110 学習日 月 日

② 《単元19》 P.111 学習日 月 日


D データの活用

表とぼうグラフ 学習日 月 日

⑳ 表とぼうグラフ P.112~115

授業でわかる! ⑥

グラフのよさをさがしてみよう P.116~117 学習日 月 日



なかたとしゆき 中田寿幸

チェックしよう (Dデータの活用編)

《単元20》 P.118~119 学習日 月 日

3年のまとめ(1) P.120~121 学習日 月 日

3年のまとめ(2) P.122~123 学習日 月 日

活用問題(1) P.124~125 学習日 月 日

活用問題(2) P.126~127 学習日 月 日

活用問題(3) P.128~129 学習日 月 日

**計算ドリル
成績シート**
P.132

計算ドリルノートのつくり方

じっさいの③⑥はちがう問題です。

1cm 方眼のノートを
使うと書きやすいです。

計算ドリルの
番号とアイテムの
ページを
書きましょう。

問題をといた日を
書きましょう。

○と✓は番号の上
に
ていねいに書きましょう。

正しい
正解した数を
書きましょう。

計算に筆算を用
いたときは、式
の下に書くよう
にしましょう。
筆算は1ますに
1つの数字を書
くようにし、位
をそろえるよう
にしましょう。

式と答えを
書きましょう。

次の問題は、
1行あけて
書くように
しましょう。

筆算の横のぼう
は、じょうぎを
使ってていね
いにかくように
しましょう。

上にすきまが
できても横の
問題とそろえ
るようにし、
上につめない
ようにしましょう。

1ますに2けた
や3けたの数を
書いて、ノート
をうまく使い
ましょう。

③⑥ p43 9月15日

11問 / 12問

①	17 × 36 = 612	②	35 × 29 = 1015
	$\begin{array}{r} 17 \\ \times 36 \\ \hline 102 \\ 510 \\ \hline 612 \end{array}$		$\begin{array}{r} 35 \\ \times 29 \\ \hline 315 \\ 700 \\ \hline 1015 \end{array}$
③	62 × 54 = 3348	④	79 × 50 = 3950
	$\begin{array}{r} 62 \\ \times 54 \\ \hline 248 \\ 3100 \\ \hline 3348 \end{array}$		$\begin{array}{r} 79 \\ \times 50 \\ \hline 3950 \end{array}$
⑤	241 × 32 = 7712	⑥	365 × 14 = 5110
	$\begin{array}{r} 241 \\ \times 32 \\ \hline 482 \\ 7230 \\ \hline 7712 \end{array}$		$\begin{array}{r} 365 \\ \times 14 \\ \hline 1460 \\ 3650 \\ \hline 5110 \end{array}$

まちがえた所の上に赤ペンで正しく
書きなおしましょう。

※まちがいは消しゴムで
消さないようにしましょうね！

1ページにおさまらないときは、
次のページに書きつづけていきましょう。

<先生方へ>

このつくり方は指導の一例です。児童のノートや先生方の学習方針によって、工夫して指導くださいますようお願い申し上げます。

＋、－、×、÷ の計算

$$\begin{array}{l} \textcircled{1} \quad 3 \times 4 + 2 \\ = 12 + 2 \\ = 14 \end{array}$$

計算の流れがわかるように、式は＝でつづけて下に書くようにしましょう。

□をもとめる計算

$$\begin{array}{l} \textcircled{1} \quad \square \times 4 = 20 \\ \square = 5 \end{array}$$

行をかえて、答えを書くようにしましょう。

小数の計算

$$\begin{array}{r} \textcircled{1} \quad 0.3 + 0.5 = 0.8 \\ 0.3 \\ + 0.5 \\ \hline 0.8 \end{array}$$

$$0.3 + 0.5 = 0.8$$

1まずに0.3を書けば、ノートを広く使えます。

筆算は式の下に書くようにしましょう。筆算では1まずに1つの数字を書くようにし、位をそろえるようにしましょう。

分数の計算

$$\begin{array}{l} \textcircled{1} \quad \frac{1}{5} + \frac{3}{5} = \frac{4}{5} \\ \textcircled{2} \quad \frac{1}{7} - \frac{2}{7} \\ = \frac{7}{7} - \frac{2}{7} \\ = \frac{5}{7} \end{array}$$

分母、分子の数字はそれぞれ1まずに書くようにしましょう。

1を $\frac{7}{7}$ にかえたときは、かならず書こう。

